

科学的根拠に基づき 国民の安全と健康を支える

Our Mission

国民が安全な生活を送れる社会にするためには、科学的根拠に基づいたルールの策定・遵守が求められます。医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性を守りながら、最新の科学技術等の時代を取り巻く変化を踏まえて薬事制度を刷新していきます。また、未知の国際感染症対応の最前線で国民の命と健康を守るとともに、流通の国際化や技術革新に対応した新時代の食の安全の確保、安全で強靱な水道システムの構築等を通じて、国民の安全・快適な生活の実現に取り組みます。

部局の所掌分野

医薬品、医療機器等の有効性・安全性確保

有効で安全な医薬品、医療機器等を提供するため、医薬品医療機器等法に基づき、治験から製造、販売、市販後の安全対策まで一貫した対策に取り組んでいます。

献血、薬物等の規制

献血に代表される血液事業、麻薬等薬物の乱用対策、化学物質の安全対策など、国民の生活と安全に直結する様々な問題に取り組んでいます。

食品の安全の確保

食品に関連する科学技術の進展、食品流通の国際化、食生活の多様化等に柔軟に対応して、我が国における食品の安全を確保しています。

安全な水道水の確保

水道事業の認可、水質基準の策定等の水道に関する制度の運用や水道管の耐震化への財政支援等に加え、災害時には断水被害への対応も行っています。

生活衛生関係営業の振興等

理容業や美容業、クリーニング業、旅館業等、国民の生活に密着した業種の衛生規制と振興に加え、建築物の衛生的環境の確保などに取り組む、公衆衛生の向上・増進を図っています。

政策紹介

時代のニーズに対応する 薬剤師・薬局制度へ

これからの薬剤師・薬局は、対物業から対人業務へとシフトし、地域包括ケアシステムの中で重要な役割を担います。薬剤師ならではの専門性を活かしながら、その役割を果たすべく、多職種と連携し、薬を渡した後もフォローしていく在り方を考えていきます。

また、ウィズ・コロナ、ポスト・コロナの時代において、患者の利便性向上や薬剤師・薬局業務効率化の観点から、「オンライン服薬指導」「電子処方箋」「電子版お薬手帳」など、薬学管理×デジタルの取組を進めています。



薬と健康の週間

医薬品等への バーコード表示の取り組み

2019年度の医薬品、医療機器等法の改正により、医薬品等に同梱されていた紙の添付文書が廃止され、医薬品等の容器に記載されたバーコードから電子化された添付文書へのアクセスが可能となりました。

また、2022年12月には、トレーサビリティの向上の観点から、医薬品等の包装等へのバーコードの表示が義務化されます。バーコードに記録された情報により、電子的に医薬品等の情報を管理することが可能となります。これを活用することで製造、流通から、医療現場に至るまでの一連の流れにおいて、医薬品等の使用記録の追跡、回収ロツ



バーコード表示

トの特定、製品の取り違えの防止などの市販後安全対策が向上することが期待されます。

水際の最前線で日本を守る

検疫所は、国内に常在しない感染症の国内への侵入を防止することを使命として、全国の海港、空港に設置されています。

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行している今、検疫所に求められる役割は大きくなっています。入国者に対する検査の実施や変異株流行国からの入国者を施設待機の対象とするなど、水際対策の最前線を検疫所が担っています。

さらに、国際的な人の往来を増やしていく観点から、検疫手続のデジタル化等を通じて、スムーズな入国の実現にも取り組んでいます。

また、検疫所は、輸入食品の審査や検査の実施等、日本に輸入される食の安全を守る役割も担っています。



入国者の検体を採取する
検疫所職員

Hot Topics

治療薬、ワクチン等の有効性・安全性確保

新型コロナウイルス感染症が世界的に大きな影響を及ぼしています。厚生労働省は新型コロナウイルス感染症の治療薬やワクチンをはじめ、医療機器や各種検査薬などを、PMDA（医薬品医療機器総合機構）と連携して治験データや最新の科学的知見に基づき、優先かつ迅速な承認を行ってきました。また、市販後も安全対策のために調査、議論を続けており、副反応の報告を受け、2021年にはワクチンの添付文書の記載を改訂しています。

さらに、感染症の拡大等の緊急時において、国民の生命と安全を守るため、必要な治療薬やワクチン等の早期実用化を可能とするための薬事承認制度についても検討を進めています。

ゲノム編集技術で作られた食品

私たちの食生活を支える様々な作物や家畜の多くは、人類が品種改良を重ねてきたものです。

その方法のひとつとして、新しいバイオテクノロジーであるゲノム編集技術が登場しました。この技術を用いて、GABAを多く含むトマト、筋肉を増量したタイ、高スピードで成長するフグが誕生するなど、食品の世界は変革期を迎えています。

先端技術を用いた食品市場の新たなイノベーションに対し、食品衛生の観点からリスクに対応しています。



血圧降下作用が期待される
GABAを多く含むトマト



筋肉量を増やしたタイ

ゲノム編集食品の例